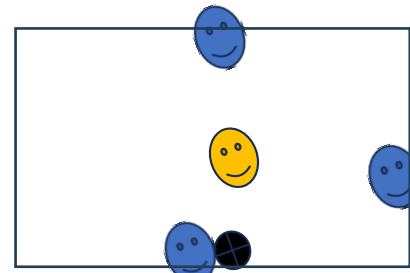
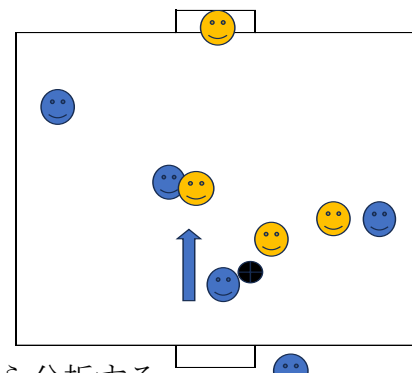


学習の展開

学校番号：５７		学校名：岐阜県立斐太高等学校		指導者名：松田　果歩		令和６年11月6日（水）5時間目／16時間	
クラス：３ＤＥ（２８名）		場所：体育館		科目：体育		領域名：球技（ゴール型）サッカー	
準備する物：フットサルゴール、ボール、コーン、各チーム2台ずつタブレット（撮影用と評価用）、ゼッケン、ホワイトボード、マグネット							
本時の指導 (学習目標)		・チームや自己の動きを分析して、良い点や修正点を指摘しよう。					
本時の手立て		・タブレットのカメラ機能で撮影し、空間を意識したプレーをチームで分析して理解したり、仲間に伝えたりすることで思考力・判断力・表現力を向上させ、より主体的な活動を行う。					
クラス観		・活発な生徒が多い一方で、運動の苦手な生徒も複数いる。 ・授業に意欲的な生徒が多く、仲間とコミュニケーションをとりながら活動する様子が見られる。					
	学習内容	学習活動	指導上の留意点	学習形態	評価規準（評価方法）		
導入 10分	○集合・準備運動 ○挨拶・欠席確認 ○前時の復習 ○本時の説明	●ランニング後、体育係の指示で体操・柔軟・補強運動を行う ●挨拶・欠席確認をする ●前時の復習をする ●本時の目標を確認する	○時間を守らせる ○けがの防止や事故の防止のため、丁寧に行わせる ○規律を守らせる ○学習につながりを持たせるため、ポイントを思い出させる ○本時の授業で何を目標とするのか、生徒に理解させる ・仲間や自分のプレーを分析して良い点や修正点を仲間に伝える。 ○動画を見る時のポイントを理解させる ・どこに空間があるのか ・誰が空間に入り込むのか ・空間を埋めた後にできる空間はどこか	一斉			
展開 35分	【ねらい】 仲間や自己のプレーを分析して、良い点や修正点を伝えよう。						
	【発問】 仲間や自分のプレーを分析して良い点や修正点を仲間に伝えよう。 【ポイント】 ・どこに空間があるのか ・誰が空間に入り込むと良いのか ・空間を埋めた後にまた新たに出来る空間はどこか						
	○条件付きパス練習 (3分)	●各チームで条件付きパス練習をする ・チーム内でOF3人、DF1人を作り、メンバー交代しながら空いた人や空間にパスを的確に出す練習をする ・DFにボールをとられたら交代する 	○範囲を作って（バドミントンコート半面）制限のあるなかで空いた人を見つける練習をさせる ○ポイントを伝えながら観察する	チーム			
展開 35分	○ミニゲーム① (3分×3セット) ICT活用 (カメラ設置各2分)	●4対3のミニゲームをする ●ポイント ・空間に動き出すこと ・空いている仲間にパスを出すこと ●ルール ・体育館の半面で行う ・OF側のシュートを打った人、DFにボールを取られた人は攻防の交代のタイミングでコートに入る。（キーパーはゲームをしていないチームから） 	○空間に動き出すこと、空いている仲間にパスを出すことを目的とすることを理解させる（マグネット使用） ○コート全体が映るように撮影場所を考えさせる ○全体を見て声をかけることで、空間を意識させる	チーム			
	○ミーティング (8分)	●動画から分析する 撮影した動画をみて、ワークシートをもとに話し合う ※もう一台のタブレットで話し合いの様子を撮影する 【思考・判断・表現①】	○空間がどこにあるのか、誰が空間に入り込むと良いのか、空間を埋めた後の空間はどこかを意識させる	【思考・判断・表現①】 行動観察・分析動画記録 十分満足できる (A) ・自分の意見を積極的に発言することができる。 ・動画を分析し、状況に応じて具体的な課題を発見することができる。 おおむね満足できる (B) ・自分の意見を発言することができる。 ・動画を分析し、課題を発見することができる。 努力を要する (C) ・自分の意見を発言できない。 ・動画を見ているだけである。課題を発見できない。 ※授業後、生徒が撮影したミーティング動画を視聴し思・判・表①を評価する。			
まとめ 5分	○本時の振り返り ○整列・挨拶	●本時の活動を振り返る ●次時を確認する ●整列し、姿勢正しく挨拶する	○良いプレーや考えを深める発言を紹介し、理解させる ○素早く整列させ、解散まで指示する	一斉			